



ていじせい かぜ 定時制の旋風

2024年 10月号

発行者 教頭 松本康一

県立小野工業高等学校 定時制課程

「大人の風格を」

あいさつは人が他人との行き会いや、また別れるときに、「言葉・態度・親愛・友情」を示すための伝統的な行動です。だから昔から、この「あいさつ」は社会道徳として重要視されてきました。この「あいさつ」をすることでお互いの緊張の対立はなくなり、親愛の気持ちが生じてきます。学校や地域社会では、あいさつは基本的なエチケットとして身につけるように言われるのはこのような意味があるからです。私達の周りの人間関係を明るく、気持ちの良いものにするために、お互い自分の方から進んであいさつをしてほしいと思います。

あいさつの言葉は簡単な言葉ですから、難しいことはありません。自然に「こんにちは。ありがとうございます。失礼します。さようなら。」などが出てくるようになりたいものです。

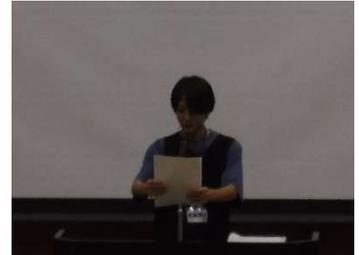
職員室では、まず一礼してから出入りする習慣をつけると、身のこなしが柔らかくなり落ち着いた“大人の風格”がでてきます。先生や目上の人に用件を述べる時は「失礼します」と一礼して、はっきりと用件を述べ、一礼して帰る心の豊かさと余裕を持ってください。学校で会う、直接授業を受けていない先生や外来者に対しては、軽く会釈するのもよいでしょう。登下校の時、友達同士では「またあした」「じゃ、おさきに」など軽いあいさつでも充分です。

自然体でこれらのことができる、宝物を一つ身につけていることとなります。ちょっとした動作の中に光るみなさんの品性を表してください。あいさつはこころの握手です。



【東播・淡路生活体験 発表大会】

9月8日(日)
錦城高校において、東播・淡路生活体験発表大会が開催されました。本校からは、1年生の



神澤フートアキラ君と、3年生のレ アン ミン



君が本校代表として出場しました。来賓・審査員・観客と多くの人々の前で堂々と話す姿に大変好感が持てまし

た。今までの経験を今後の人生に生かしたいと思う気持ちが素直に表れた素晴らしい発表でした。

【進路状況について】

4年生の就職試験も一段落し、日頃の努力が実り好結果(9/25 現在、受験者全員が企業からの内定を頂いています)に繋がっています。下級生も4年生になってから慌てるのではなく、早く目標を定め、今やるべきことに全力で取り組んでみてください。企業が求める人物像は業種、規模が違って、あまり変わりません。企業に利益をもたらす人材には業種、規模に関わらず共通事項が必ずあります。

さて、就職試験で内定を勝ち取った4年生の皆さんにお願いがあります。人生のうちで「おめでとう」と言われることは、そんなに多くはありません。出来たらみなさんの出身中学校にも進路決定の報告に行ってみてください。よろしくお願いいたします。

(文責 教頭 松本 康一)